

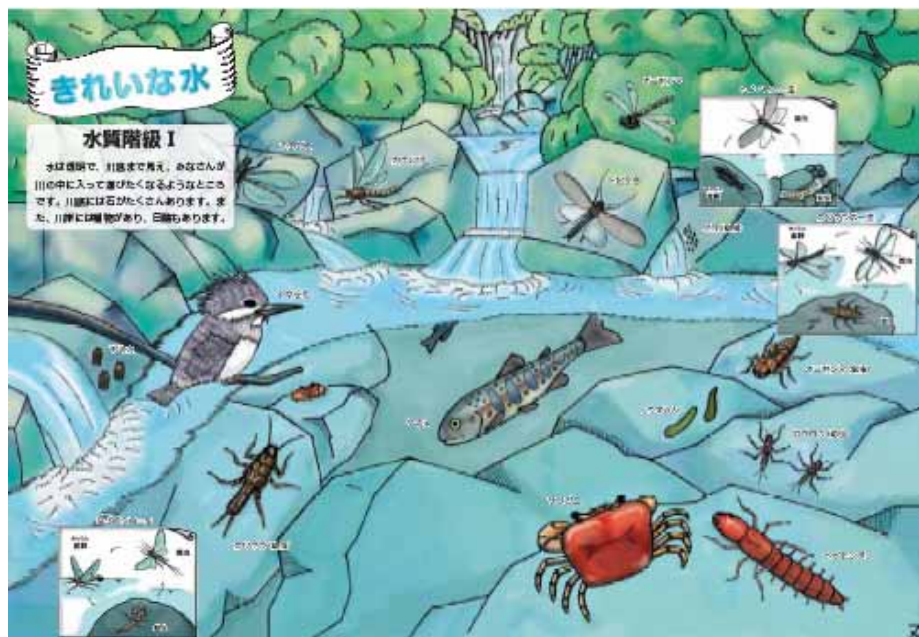
全国水生生物調査の概要

【参考1】

川の中には様々な生きものが住んでいます、特に川底に住んでいる生きものは、過去から調査時点までの長い時間の水質の状況を反映したものであり、どのような生きものが住んでいるかを調べることで、その地点の水質の程度を知ることができます。この調査は、適切な指導のもと、小学生、中学生、高校生、一般の人々のだれもが簡単にできるようになっています。

調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、30種を指標生物としています。
河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点毎に、Ⅰ（きれいな水）、Ⅱ（少しきたない水）、Ⅲ（きたない水）、Ⅳ（大変きたない水）の4階級で水質の状況を判定しています。



水質階級と指標生物



きれいな水（Ⅰ）の指標生物		少しきたない水（Ⅱ）の指標生物	
カワケラ	ヘビトンボ	コガタシマトビケラ	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ	ブユ	オオシマトビケラ	スジエビ
ナガレトビケラ	アミカ	ヒラタドROMシ	○ヤマトシジミ
ヤマトビケラ	サワガニ	ゲンジボタル	○イシマキガイ
	ウズムシ		カワナ
きたない水（Ⅲ）の指標生物		大変きたない水（Ⅳ）の指標生物	
ミズカマキリ	○ニホンドロソコエビ	セズユスリカ	サカマキガイ
タイコウチ	タニシ	チョウバエ	エラミミズ
ミズムシ	ヒル	アメリカザリガニ	
○イソコブムシ			

注）○は海水の少し混ざっている汽水域の生物